

残された期間を・・・

第3学年の皆さんの中学校生活も残すところあとわずかとなりました。今日は2月9日。登校日を数えてみると、今日を含めてあと18日しかありません。今年度は2ヶ月遅れての学校生活の始まりでしたが、よくここまで乗り切ってきましたね。諦めてしまったこと、不安だったこと、辛かったこと等が例年以上に多かったと思います。いや「例年以上に」という言葉は適切ではないですね。どの世代も経験したことがない1年を、皆さんは、「中学3年生」というとても大切な時に経験することになってしまいました。そして困難な毎日は今も続いています。推薦入試や私立一般入試においても感染を心配しながら不安を抱えて受験したことでしょう。

昨日、受験を終えて戻ってきた3年生の4つのクラスの道德の授業を参観させていただきました。まずは、皆さんが健康な状態で、しっかりと授業に参加し、意見を発表し、話し合っている姿、そして笑顔で盛り上がっている姿もあり、本当に嬉しく思い、安心しました。

授業の主題は、どのクラスも「価値をめぐって」。それぞれの感じる「しあわせ」について意見交換しながら、様々なものの見方や考え方があることを理解するというものでした。

4つのクラスを少しずつの時間でしたが参観しました。授業の中で、○互いの立場を理解し、認め、尊重する ○違いがあることの良さや大切さを見つけようと努力する等の意見が出されました。8組担任の先生は「それぞれ考え方の違いがあり、それを尊重しようとするのは大切。でも、自分の中で大切だと感じつつも、それを心から認めたり、共感したりするのはとても難しいことだね。」というお話をされていました。本当にその通りだと思います。様々な考え方があることは知りつつも、それを認め、折り合いをつけていく事は本当に難しいことです。それが簡単にできれば皆さんから出ていた意見のように「みんな違ってみんないい」というスローガンの下でみんなが平和で幸せな世界になるのでしょうか。価値観を認め合うことは本当に難しい。

5組担任の先生のクラスでは、生徒から「校長先生、納豆は好きですか」と質問されました。「納豆は苦手です。」と答えました。お互い苦手でしたね。納豆が好きな人、苦手な人、様々です。「みんな違って、みんないい」と思います。「たまごかけごはん、どうやって食べますか？」食べ方も同じでしたね。「みんな違ってみんないい。そして同じもまたいい」といった感じですね。気を使って質問していただき、ありがとうございました。何はともあれ、3年生の生徒たちの笑顔に接し、嬉しくなりました。

繰り返しになりますが、残り少ない中学校生活となりました。この時期は、すでに進路決定している生徒がクラスにいて、それぞれの進むべき道が異なることを互いに意識する時期でもあり、卒業式の練習が始まり、残り少ない日々であることを実感する時期でもあり、公立高校受験までには少し期間があり、少し気が抜けてしまう時期でもあり、それぞれのモチベーションを保つことが難しい時期です。皆さんは、この1年間、「当たり前」は決して当たり前ではなく、大切な日々である事を知ったと思います。しかし「当たり前」が続くと、大切に感じた「当たり前」は普通の「当たり前」に戻ってしまいます。でも、それでいいのかなとも思います。日常の日々をあまりにも大切だと強く意識しすぎて生きてると、逆に苦しくなるのかもしれない。それでも、皆さんは自分がたどってきた1年を、この難しい時期を乗り越えてきた日々を忘れないでいてください。ね。「当たり前ではない日々」を「当たり前」のように乗り切ってきたこと、そして、その先に「みんなちがってみんないい」それぞれの幸せがあると思います。あと少し、一緒に進みましょう。